

芝浦工業大学附属中学高等学校

市進学院主催 学校訪問会レポート
2019年 6月 28日 (金)

心配された台風の影響もほとんどなく、芝浦工業大学附属中学・高等学校の学校訪問会が行われました。最寄駅は、ゆりかもめ新豊洲駅ですが、生徒は、登下校上の安全と周辺環境保持等の理由で、本校より徒歩7分ほどの豊洲駅の使用が指定となっています。

オリンピック関連施設の建設が周辺で進む中、スマートで美しいフォルムの校舎が目を楽しめます。



大坪校長より「本校の特長」「本校だからこそできること」「求める人間像」などの具体的でわかりやすいお話がありました。

また、広報室長の斎藤先生より「学校生活」「芝浦工大柏との違い」「進路実績と進学先」「いじめやトラブルが起こった時の対応」など、学校生活の実例を踏まえながらの説明がありました。大学進学に関しては、目を見張る実績があるものの、この点では他校とは競いたくなく、大学受験一辺倒になってしまうのは、本校の理念とは合致しない部分もあるとの理由で、努めて謙虚なお話となりました。「本校の中学受験は、算国理の3教科入試ですが、校名の通り、工業理数系に特化した、ものづくりから派生する授業コンテンツが非常に多くなっています。この分野が嫌いな場合は、あまり勧められない」とのことです。実情に沿ったお話は、参加者の共感を得ていました。

説明会のあとは校内見学。清閑な中に、活発な授業の音が聞こえてきました。

教室をはじめ、「思わず入りたくなる」をコンセプトとした図書室や、体育の授業が元気に楽しく行われていた、人工芝と天然芝が敷き詰められた美しいグラウンド、メインアリーナなど、立派な施設を見学させていただきました。



会の途中では、在校生を代表して、市進出身者2名の質疑応答タイムが設けられました。

受験動機や入学後の生活、中学授業内容のことなど、ユニークで元気な芝浦生の生の声に耳を傾けることができ、市進訪問会ならではの、貴重なひと時を過ごすことができました。